

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	シリア・中心体系による生体情報フローの制御
領域代表者	濱田 博司（大阪大学・生命機能研究科・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、基底小体・中心小体という共通の構造基盤をもつ繊毛と中心体をダイナミックな小器官と捉え、これらを介した細胞内、細胞間、組織間の情報フローを明らかにすることを目指す提案である。シリア・中心体系によるシグナル伝達制御や細胞骨格制御の重要性とその破綻による病態との関連性が急速に解明されつつある、国際的に見ても進展が目覚ましい分野での研究提案であり、必要性は高い。また、領域代表者を筆頭に実績のある研究者によって組織されており、質の高い研究成果が期待される。</p>